

町では、千年以上育まれてきた国見の歴史・伝統・文化をこれから百年後に伝えていくため、これらを生かした「歴史まちづくり」の取り組みを進めています。町や地域が行うこの取り組みについて、毎月お伝えしていきます。

【歴史まちづくり推進室 ☎ 585-2967】  
【あつかし歴史館 ☎ 585-4520】



### 『福源寺地蔵庵観音堂』が町有形文化財に指定されました！

国見町教育委員会は、町文化財保護審議会（会長：阿部浩一福島大学教授）からの答申を受け、3月13日に福源寺地蔵庵観音堂を町指定有形文化財（建造物）に指定しました。新たに指定された町の“たからもの”を紹介します。

福源寺が所在する鳥取地区は、古くから鳥取越と呼ばれた峠への道を中心に街道集落として形成され、羽州街道と小坂宿が整備される以前は宿場であったと言われます。この集落の中心には、「鳥取観音」と呼ばれ、江戸時代に信達三十三観音霊場となった観音堂が存在します。今回指定された建造物は、明治8年（1875年）にそれまでであった観音堂を改築するため、地域の人々が関わりながら建設されたものです。

外観は土蔵造の小さな御堂ですが、黒漆喰や梁・板戸などの随所に左官や大工による意匠が凝らされ、内部には明治9年（1876年）制作の鳳凰などが描かれた天井絵が全面に配されます。この鳳凰絵は、鳥取村の瀬戸徳寿（当時67歳）が奉納したもので、添えられた木札には季節的な情景



天井に描かれた鳳凰絵

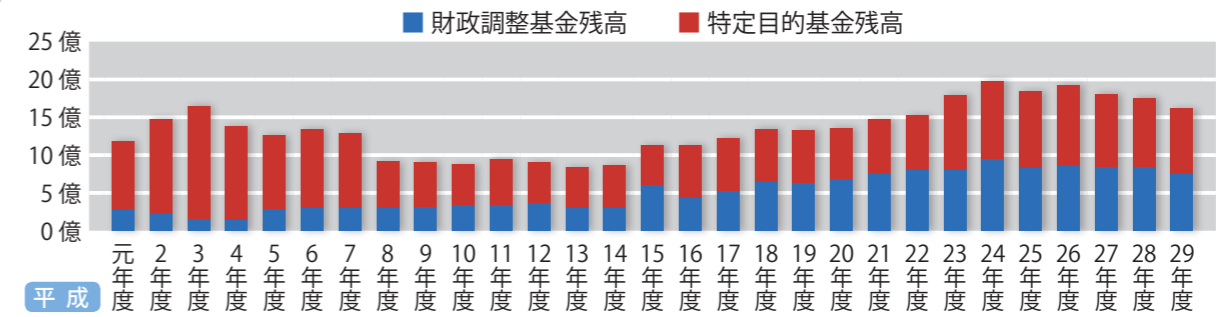
を詠いつつ、鳳凰が描かれた堂内に詰めかける人々が祈っている様子が記されています。約150年経った現在も鳥取地域の人々が信仰心を絶やさず観音様を守り、巡礼者への接待をするなどの貴重な風習も残しています。

瀬戸徳寿が願った“平和で安らかな祈りの場”は現在も継承され、地域に根差した信仰とともに建築当初の姿を良好に残す歴史的建造物として、町文化財に指定されました。



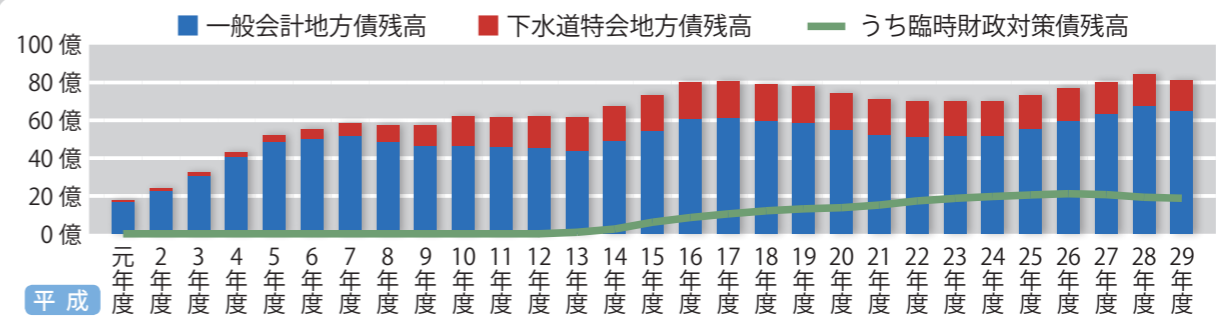
観音講の様子

### 基金（貯金）残高の推移



●震災以降は、復旧復興事業（庁舎、道の駅等）に充当するため減少しています。

### 地方債（借金）残高の推移



●地方債残高の60%から70%が国から普通交付税として後年度に交付されます。

### 各特別会計の当初予算

会計名	平成30年度	平成29年度	増減率
大木戸財産区特別会計	16万円	16万円	△3.7%
入山財産区特別会計	20万円	21万円	△7.0%
公共下水道事業特別会計	2億3,106万円	2億3,956万円	△3.6%
後期高齢者医療特別会計	1億2,897万円	1億1,332万円	+13.8%
国民健康保険特別会計	11億2,873万円	13億5,559万円	△16.7%
介護保険特別会計	12億5,811万円	12億1,082万円	+3.9%
土地開発事業特別会計	5,510万円	4,630万円	+19.0%
湧水対策施設特別会計	1,153万円	2,969万円	△61.1%

### 水道事業会計の当初予算

項目	平成30年度	増減率	項目	平成30年度	増減率
収益的収入	2億7,619万円	+0.5%	資本的収入	7,360万円	△63.7%
収益的支出	2億7,501万円	+7.1%	資本的支出	1億6,976万円	△42.4%

### 歴史まちづくり インフォメーション

大木戸歴史むらづくりの会×あつかし歴史館  
～5月5日『こどもの日』遊びと学びのミュージアム～  
『こいのぼりと手作りワークショップ』  
今年も大木戸の空にこいのぼりが泳ぎます。端午の節句にちなんだ食事や習わしでお祝いしましょう！

日時 5月5日 祝  
午前10時から午後2時

会場 国見町文化財センター  
あつかし歴史館（旧大木戸小学校）

内容 笹巻（ちまき）体験 100円  
しょうぶ湯（足湯）体験 無料  
はにわ粘土体験 100円  
国見石ピザ焼き体験 無料 他



### くにみ春のフードフェスタ 奥山家住宅洋館・主屋を公開

3月4日に開催された「くにみ春のフードフェスタ」に合わせ、奥山家住宅内部の一般公開が行われ、町内外から約700人が訪れました。洋館とともに特別に公開となった主屋には、江戸時代から昭和時代の貴重な雛人形が飾られたほか、100体の七福神が彫られた板襖や松竹梅の欄間など、見学者は慶賀な空間に見入っていました。



▲公開された貴重な雛人形



▲襖や欄間に見入る来場者